

KOCHI 2016 ROTARY 2017 CLUB SINCE 1937



2016-17年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3303回

2017年5月16日 2017年5月23日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。先週は、現・新クラブ協議会が行われました。各委員長さんからの本年度の活動経過報告と、新委員会のメンバーの顔合わせの引き継ぎを行っていただきました。各委員会の活動報告の一つ一つがクラブの奉仕の理想に合致するものと感銘を受けた次第です。

昨日は、市内8RCの現・新、会長・幹事顔合わせ会で、ニコニコ顔の喜び組と、さあこれからという緊張組が鮮やかに分かるような会でした。もちろん、私は喜び組の方で、高村さんは緊張組でした。

本年度も余すところ1ヵ月余りですが、与えられた任期をしっかり全うしなければと改めて思い定めているところです。皆さまの一段のご協力をお願いするとともに、2017-18年度の新会長・幹事への多大なご協力を賜りますように早々とお願いしたいと思っております。

本日の卓話は、魚と山の空間生態研究所代表、山下慎吾様の「川エビの唐揚げ：その背景にあるもの」です。私も幼少のころは鏡川のほとりに住んでおり、川エビを鉄砲で突いて持って帰ると、祖母がエビとキュウリをちょっと甘く炊き合わせてくれたのを覚えています。今日は、川でゴリを捕ったり、少年の頃の懐かしい話が聞けるのではないかと期待しています。後ほどよろしくお願ひします。



■ 本日のプログラム [5月23日]

会員スピーチ

(株)テレビ高知 代表取締役社長
井上 良介 会員
「変貌するメディア環境」

会 長	川 添 昇
副 会 長	高 村 禎 二
幹 事	伊 丹 由 美
副 幹 事	高 橋 明 子
会報責任者	森 木 潤 一 郎

● ローターリーソング「我らの生業」

● 幹事報告

ガバナー事務所より、2016-17年度青少年短期交換プログラムの報告書が来ていますので、回覧します。



● 創立80周年準備委員会より

80周年を記念して、ロータリーメンバーで80kmをつないでみませんかというイベントを考え、やろうということになりました。全メンバーの歩いた、もしくは走った距離、合計80km。皆さんが歩く、あるいは走っている姿を映像で取めて編集。スタートは土本71代会長、ゴールは次年度の高村会長。撮影日の候補は、6月17日・18日、24日・25日、7月1日・2日（いずれも土日）のどれかを選んでいただき、時間は午前10時から1、2時間、高知城で撮影します。

強制ではありませんが、できれば全員参加をお願いします。ご協力をよろしくお願いします。

● ゲストスピーチ

川エビの唐揚げ：その背景にあるもの

魚と山の空間生態研究所 代表 山下 慎吾 氏

私の両親はともに和歌山県の南部で育っています。大阪に働きに出ているときに出会い、私が生まれました。私は淀川流域で育ったあと、奈良県に移り、大学と大学院の6年間は高知市民として鏡川流域で暮らした後、東京と筑波の研究所、利根川流域に15年いました。そして四万十川流域に戻ったのが10年前です。



東京と筑波にいるとき、河川保全に関する研究や事業をしていて、その間、日本全国に行きました。北海道から、青森の恐山から流れている川や鹿児島島の川など、いろんな川に入りました。専門は河川生態学、魚類学、景観生態学です。仕事は流域保全の研究や空間情報の取り扱い、大学や高校での講義、「研究会はたのおと」という幡多地域を対象とした研究会を運営しています。

私の事務所は、四万十市西土佐口屋内という、四万十川と黒尊川が合流する地点にあります。いろんな方に川エビの話をする、子どものころたくさん捕った、石をひっくり返したら3匹も4匹も出てきたと言われます。また、川エビは川漁師さんの生業ともなっていますし環境学習の資源ともなっています。

高知県には、テナガエビという名のテナガエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテナガエビの3種類のテナガエビ（川エビ）がいますが、四万十川で見ると、3種類のいる場所はそれぞれ違います。テナガエビは河口辺りのみ、ミナミテナガ

エビは50～60kmまで遡ります。一番腕の太いヒラテナガエビは、地名でいうと大正、100km近くまで遡ります。テナガエビは雌のお腹のところに卵をいっぱいつけて、孵化したのが川の上流から下流へ流れます。流れて栄養たっぷりの汽水水域で幼生から稚エビにまで育ち、稚エビが川を遡るといって生活を繰り返します。ですから、途中で大型のダムなどができると、それより上流にはいなくなります。

今、四万十川では漁獲量に変化しています。2001年から見ると、2006年はなぜか全然捕れませんでした。原因はわからないのですが、翌年は通常どおり捕れて、2007年から2009年まで漁獲量が上がり、四万十川の川エビという名のもとにどんどん出荷していました。しかし、ここから2.5トンだったものが2トンを切り、1トンを切り、0.7、0.4、2015年には0.15、去年はとうとう0.1トンを切りました。テナガエビの寿命は大体3年から4年だと言われていて、それが6年以上連続して落ちているのは、全世代で落ちているということで、かなり危機的な状況です。

幡多公設市場には周辺の川から持ち込まれますが、やはり2009年をピークとしてゆっくりと確実に減少しています。キロ単価も1kg1,500円ぐらいだったものが、いつの間には3,000円、4,500円近くまで上がりました。こうなると地元の居酒屋さんでは使いにくいレベルになってきて、2016年に少し落ち着いていますが、まだ難しいところではあります。

漁協の方も危機感を持ち、捕る期間を狭めたり、エビ筒というトラップの数の制限をしたり自主規制をかけています。その上でこれからどうしていったらいいかを、一緒に考えて取り組んでいます。アユやウナギのように養殖という手立てがあればいいのですが、テナガエビは共食いがとても激しくて育てている間にどんどん数が減って、養殖技術が確立さ



れていません。また、ヒラテテナガエビとミナミテナガエビは真水域から汽水域に行き、また真水域に上がってきますので、飼育するにも塩分濃度を変えるなど、かなり難しいので養殖という手はありません。捕る量を減らすか河川環境を良くして待つしかないということになります。

水生生物が絶滅、または減少する原因は5つ。住んでいる場所がなくなる。生息環境の悪化。移動経路の分断。外来生物の影響が加わる。人による捕獲圧。

そこで今はまずは関心を持ってもらおうと、四万十高校で川の授業を2007年から毎年行っています。環境省の川の事業や都会から来た修学旅行生の研修。東京の大学のフィールドスタディの研修。土佐清水市の小学生の授業等々で、少しずつ知ってもらおうようにしています。もう一つは

きちんとしたデータを取るために、2012年から毎月1回、四万十川のメインの場所に入っています。その他、自分たちでエビやウナギ、ハゼなどが上れる仕掛け=魚道を2種類作りましたが、間伐材より竹を編んで石を詰めて作った物の方が効果が高いことがわかりました。

高知県にいる川エビ、つまりテナガエビは食、子どもや大人の遊び、学び、環境等に密接な関係がありますが、四万十川流域ではこれらのエビが著しく減少している状態です。その要因に対応するために、関心を持ってもらい、長期データを収集して研究を進めること。自分たちでできるレベルから始めて自然再生を実践していくこと。こういった取り組みにより、川への興味を持ち、自分もやってみたいというきっかけとなってくれたらと思っています。



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
5月16日	(-9)93	55	20	9	76.19
5月2日	ロータリー休日				

◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	6月 8日	日時計例会(阪)	高知ロイヤルRC	6月13日→6/11(日)	職場例会に変更(旭)
高知西RC	6月16日	夜間例会(三)	高知北RC	6月19日	夜間例会(三)
高知北RC	6月26日	ロータリー休日(三)	高知RC	6月27日	夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	6月27日	夜間例会(旭)	高知東RC	6月28日	夜間例会(阪)
高知南RC	6月29日	夜間例会(阪)	高知中央RC	6月29日	夜間例会(城)
高知西RC	6月30日	ロータリー休日(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 西山 彰一 『ロータリーの友』の記事に掲載していただきありがとうございます。記念になります。重ねてお礼申し上げます。
- 入交 章二 2月の例会で教えていただいた「日本尊厳死協会」。夫婦で終身会員の登録を完了。「周りの皆さんに知っておいてもらうことが大切。」だと野中先輩が言われていましたのでニコニコで告知です。夫婦での終身会員登録のお値段は・・・。ご興味をお持ちの方は入交まで。
- 吉村 貴志 『ロータリーの友』5月号に掲載された「クラブを訪ねて」取材の方を当社のレストランへお連れいただき、ちゃっかり紹介されました。ご案内役の伊丹幹事、武樋会員にお礼をこめてニコニコします。
- 野村 茂 5月21日(日)に高知市長浜の若宮八幡宮において、第6回長宗我部まつりを開催します。当クラブの皆さまにも多大のご支援を賜っています。テーブルにパンフレットをおいてありますので、ご覧ください。多くの会員の皆さまのご来場をお待ちしています。
- 大久保千堯 来る5月21日(日)当社で行われる第6会「長宗我部まつり」に今年初めて「雨戸マンガ」を出展します。古い雨戸を利用し、県内在住のマンガ家諸氏に作品を発表してもらう新しい企画です。ぜひご覧くださいませ。
- 紫藤 秀久 先日は結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。結婚24年ですが、子どもはまだ10歳。子育てはこれからです。
- 武者 弘晃 先日14日(日)の33会(南高戦)に参加させていただきました。当日は天候に恵まれ、また普段接する機会の少ない南ロータリーの方々とも楽しくラウンドさせていただきました。結果はスコア89で23もハンデをいただいたため、優勝してしまいました。「23のハンデは多すぎ」と多くの方々からクレームをいただきました。すみません。ニコニコで少しお返しさせていただきます。
- 中島 和代 東日本大震災で流された陸前高田の松原のマツで作ったバイオリンを国内1,000人の演奏家がリレー演奏するプロジェクト TUNAMI弦楽器の調べ「千の音色でつなぐ絆コンサート」が高知でも開催の運びとなりました。現在も世界中でリレー演奏されており、今年の3月で500人目を迎えています。この演奏会の収益は、東日本だけではなく、九州の被災地にも寄付することを目的としています。5月25日(金)高知県立美術館ホールでの演奏会には高知の皆さんにもぜひご参加いただきたいということで、高知ロータリーの皆さまに、チラシを入れさせていただきました。ご協力、ご支援いただける方は、中島までお願いいたします。あいにく5月9日の例会は、仕事のため欠席していますが、どうぞよろしく願いいたします。

● 累計額 [5月16日現在]

ニコニコ箱	1,022,200円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	307,255円	ポリオ募金	354,200円
-------	------------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [5月30日]

ゲストスピーチ
写真家
角田 和夫氏
「こころを紡ぐもの—白と黒の世界」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/